



【略歴】
 1978年3月 早稲田大学理工学部建築学科卒業
 1980年3月 早稲田大学大学院建設工学専攻博士前期課程修了
 1984年3月 早稲田大学大学院建設工学専攻博士後期課程単位取得退学
 1983年4月 早稲田大学産業技術専修学校講師
 1984年4月 関東学院大学工学部専任講師
 1990年4月 関東学院大学工学部助教授
 1999年4月 関東学院大学工学部教授
 1999年8月 Costa Rica国立大学建築学部講師
 2002年9月 Oxford大学環境倫理・社会研究所リサーチフェロー
 2005年4月 岐阜県立森林文化アカデミー講師
 2009年3月 神奈川県知事表彰
 2010年4月 関東学院大学副学長
 2013年4月 一般社団法人住宅医協会代表理事
 2022年4月 関東学院大学名誉教授
 2023年4月 公益社団法人日本木材保存協会会長賞

第29回 稲門建築会 特別功労賞（業績）

なかじま まさお

中島 正夫（苗1978） 関東学院大学名誉教授・博士（工学）

【功績と推薦理由】木造建築の耐久性に関する長年の研究とその成果の普及活動

木造建築は、今日でこそ、社会的関心の的となり、その振興は国家的政策となっている。しかし、戦後、概ね20世紀一杯は、市街地火災等の脅威を背景として大規模建築等は不燃化が優先され、木造の活用は低層の主として住宅に限られる状況で、木造により多様な建築を実現するための研究・技術開発の担い手も極めて少なかった。日本では、元々、木造の長い伝統があったが、このような中では、木造建築の性能を長く維持し管理する技術や習慣も忘れられがちであった。中島正夫先生は、早稲田大学院博士課程を1984年に修了された後、長く、関東学院大学に奉職され、木造建築の現代的活用に社会的関心が向かわない時期から、木造の耐久性の研究に取り組まれてきた。

こうした研究の積み重ねにより、中島先生は、木造の耐久性分野の研究の第一人者となられ、その見識は、今世紀に入ってからの大規模木造の振興や普及を支える大きな力となっている。例えば、2010年には国土交通省大臣官房官庁営繕部木造計画・設計基準検討委員会委員、2015年国土交通省大臣官房官庁営繕部木造木材を利用した官庁施設の保全等に関する検討会委員長、2020年には、国土交通省住宅局中高層木造建築物の外皮の耐久性に関する検討委員会委員長、2021年には、林野庁保存処理直交集成板（CLT）の日本農林規格化に資するデータ収集・調査事業委員会委員長、そして2024年には国土交通省住宅局木造建築物の適切な維持管理や耐久性に係る評価方法等の市場環境整備及び中大規模木造建築物の普及に資する設計者向け普及・広報事業委員会主査を務められるなど、大規模・中高層木造建築が、技術開発期から普及期に入ってきた2010年代にその耐久性確保の政策化が求められるようになると、相次いで、その政策化に向けた活動の指導的立場にあたられている。また、木造建築の耐久性に関する長年の研究成果は、学会刊行物等として設計者・施工者等に役立てられてきたが、2022年には、著書『中大規模木造建築物の耐久設計と維持保全』（森北出版）として公開され、今後、増加が予想される中大規模木造建築物の耐久設計・維持管理を支える貴重な情報基盤と評価されている。

以上のように、中島正夫先生は、木造の現代的活用の可能性が注目されない時期から、木造の可能性を追求され、その健全な活用普及に必要な調査研究に取り組まれてきた。早稲田で建築を目指す人材の目標としてふさわしい活動・成果として、稲門建築会特別功労賞に推薦申し上げます。

推薦者 長谷見雄二（苗1973 早稲田大学名誉教授）

学会ならびに社会における活動

【木造建築の耐久性に係る最近の主な研究論文】

- Durability of materials used in the two-by-four residential buildings 共著 12th International Conference on Durability of Building Materials & Components 2013
- Development of Radar Apparatus for Scanning of Wooden Wall to Evaluate Inner Structure and Bio-degradation Non-destructively 共著 2nd International Conference on Structural Health Assessment of Timber Structures 2013
- Service life prediction and embody CO2 of wooden buildings 共著 13th International Conference on Durability of Building Materials & Components 2014
- 気候条件に配慮した住宅の維持保全コストに関する研究 共著 日本建築学会技術報告集 Vol.43 2015年
- 木造大壁における壁内湿度の非破壊試験方法とその信頼性 共著 日本材料学会論文集 Vol.64 2016年
- IMPROVEMENT OF IMAGE ANALYSIS -EXPOSURE TEST OF SURFACE-TREATED STEEL PLATES ON PRESERVATIVE-TREATED WOODS-共著 World Conference on Timber Engineering 2016
- Analysis of Biodeterioration and Termite Damage in Wooden Houses through a Dismantling Survey 共著 International Symposium on Architectural Interchanges in Asia 2018
- 通気層への雨水浸入および外装材吸水が壁内湿度に及ぼす影響 雨掛かりを考慮した外壁通気構法の水分挙動に関する研究 その1 共著 日本建築学会環境系論文集 第85巻、第767号 2020年
- 通気層の構成部材による排水及び通気特性への影響 雨掛かりを考慮した外壁通気構法の水分挙動に関する研究 その2 共著 日本建築学会環境系論文集 第87巻、第797号 2022年

【木造建築の耐久性に係る最近の主な委員会活動】

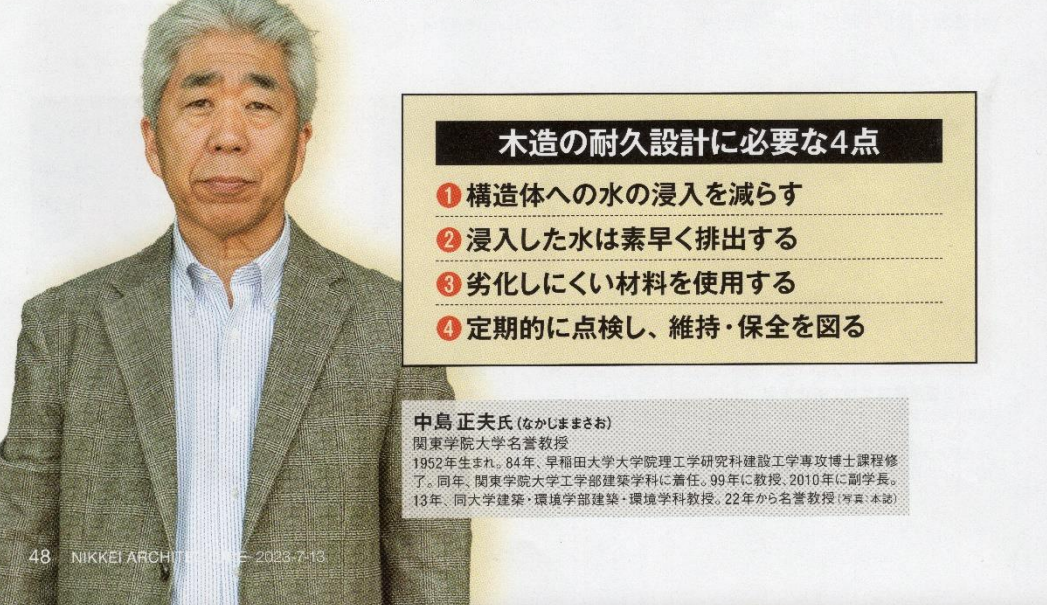
- 2010年 木造計画・設計基準検討会委員 国土交通省大臣官房官庁営繕部（～2011年）
- 2014年 CLT（直交集成板）の耐久性向上にむけた調査研究委員会委員長 林野庁（～2016年）
- 2015年 既存木造建築物の健全性評価小委員会委員長 （一社）日本建築学会（～2022年）
- 2015年 木材を利用した官庁施設の保全等に関する検討会委員長 国土交通省大臣官房官庁営繕部（～2017年）
- 2017年 住宅金融支援機構技術委員会委員長・仕様書改訂委員会委員長（独法）住宅金融支援機構（～現在）
- 2019年 CLT建築実証支援事業委員会委員 日本CLT協会（～2020年）
- 2020年 中高層木造へCLTを利用する場合の保存処理の必要性とその耐久性評価に関する調査研究委員会委員長 林野庁（～2021年）
- 2020年 中高層木造建築物の外皮の耐久性に関する検討委員会委員長 国土交通省住宅局（～2023年）
- 2021年 保存処理直交集成板（CLT）の日本農林規格化に資するデータ収集・調査事業委員会委員長 林野庁（～現在）
- 2023年 木造建築物の適切な維持管理や耐久性に係る評価方法等の市場環境整備及び中大規模建築物の普及に資する設計者向けの普及・広報事業委員会委員 国土交通省住宅局（～2025）
- 2023年 木造建築物の適切な維持保全・維持管理情報の提供事業委員会WG主査 国土交通省住宅局（～2025年）
- 2025年 木造建築物の適切な維持保全・維持管理情報の拡充検討WG主査 国土交通省住宅局（～現在）
- 2025年 木造建築物の耐久性に係る評価の枠組みの充実検討委員会委員 国土交通省住宅局（～現在）

研究最新動向 耐久設計につながる研究続々 木造ビルに挑戦しやすく

木造建築の普及に向けた研究で、構造や耐火に関する「耐久性」が顕著な活気を帯びようとしている。この分野の第一人者である中島正夫・関東学院大学名誉教授は、耐久性の確保に必要な4つの条件を挙げる。

木造建築の普及に向けた研究で、構造や耐火に関する「耐久性」が顕著な活気を帯びようとしている。この分野の第一人者である中島正夫・関東学院大学名誉教授は、耐久性の確保に必要な4つの条件を挙げる。

木造建築の普及に向けた研究で、構造や耐火に関する「耐久性」が顕著な活気を帯びようとしている。この分野の第一人者である中島正夫・関東学院大学名誉教授は、耐久性の確保に必要な4つの条件を挙げる。



最近の雑誌掲載記事より（NIKKEI ARCHITECTURE 2023年7月）

成果の普及活動

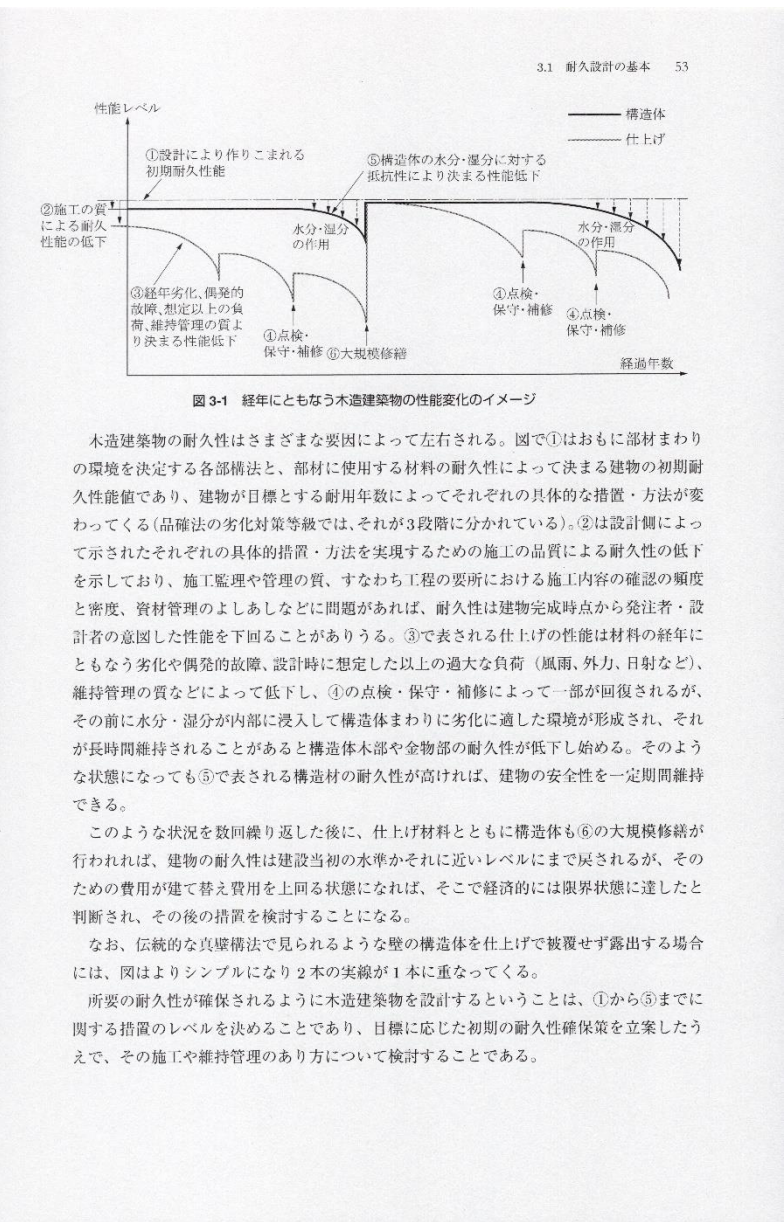
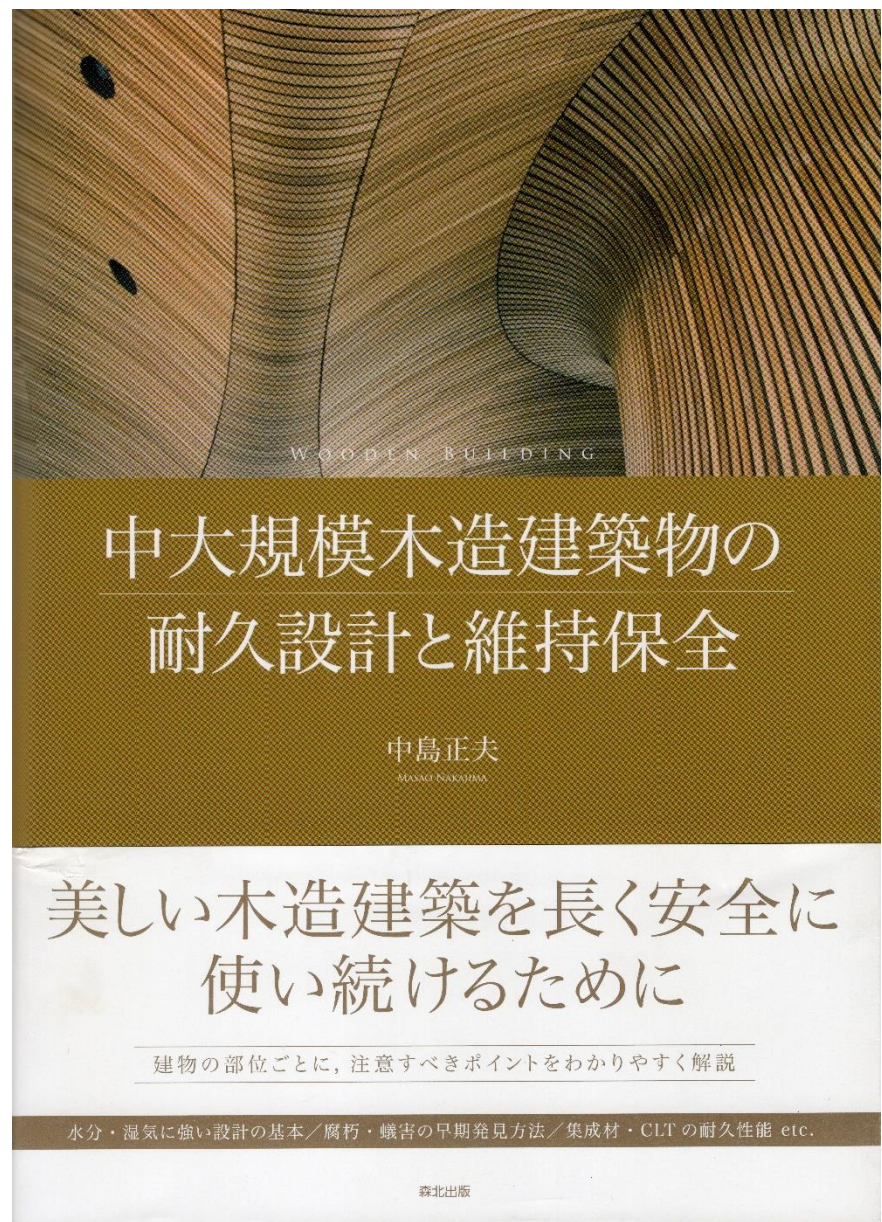
【中大規模木造建築物の耐久設計や維持管理に関する講演・講習（2011年以降）】

- 定期的に実施しているもの
- 2012年から隔年 NPO木の建築フォーラム 中大規模・中高層木造建築物の耐久性
- 2014年から毎年 林野庁 森林技術総合研修所 木造建築物の耐久性計画
- 2014年から毎年 一般財団法人全国建設研修センター 木造建築物の耐久性と維持保全
- 2015年から毎年 国土交通省 国土交通大学校 中大規模木造建築物の耐久設計

■随時実施しているもの

- 各地方自治体主催の講演（2014年神奈川県、2015年広島県、2017年兵庫県、2017年福井県、2018年福島県、2019年京都府、2020・2021年埼玉県、2020・2021年静岡県、2021年三重県、2021年佐賀県、2023・2024年岐阜県、2025年熊本県）
- 各地の建築士会、建築士事務所協会主催の講演（2011年神奈川県、2011年栃木県、2012年茨城県、2013・2014・2015・2016・2023年長野県、2015・2016年宮城県、2017年兵庫県、2018・2021・2023年愛知県、2019年群馬県、2019・2020年福島県）

【中大規模木造建築物の耐久設計や維持管理に関する著作物、成果物（2022年以降）】



単著。急増が予想される中大規模木造建築物の耐久設計と維持保全方法について劣化実態を踏まえて解説。2022年刊

主査を務めた国土交通省住宅局補助事業成果物。中大規模建築物に木材を使いたい発注者や設計者に対して、維持管理の基本的な考え方やコストについて解説。2024年刊

左記解説書を補完する技術資料集。2024年刊 いずれも国土交通省HPからダウンロード可。